

## 情報公開文書

包括研究 承認番号	23-32（乳腺外科）
臨床研究の名称 （研究課題名）	当院における遺伝性乳癌卵巣癌に対するリスク低減乳房切除術の現状
研究の目的・背景 ・意義等	<p>遺伝的に乳がんや卵巣がんになりやすい体質（HBOC：遺伝性乳がん卵巣がん症候群）の方には、将来のがんのリスクを下げる方法のひとつとして、「予防的乳房切除（リスク低減乳房切除：RRM）」という手術を選ぶことができます。</p> <p>当院では、患者さんがこうした選択を安心して行えるように、オンラインでの遺伝カウンセリングを取り入れ、専門のスタッフ（遺伝カウンセラー・医師・看護師）がチームで相談に応じています。</p> <p>本研究は、当院で RRM を受けられた患者さんの状況を振り返り、より良い診療体制をつくるための課題や今後の方向性を考えることを目的として実施します。</p>
研究対象者	2020～2025年に当院でリスク低減乳房切除術を選択、施行された53例
調査対象期間	2020年4月1日～2025年12月9日
研究期間	施設管理者による研究実施許可日～2026年3月31日
予定症例数	53例
研究で利用する 情報	<p>年齢、臨床所見（病期、病理、治療経過、遺伝学的検査結果、術式等）</p> <p>■本研究で取得した情報は、本研究の目的にのみ使用し、他の研究への二次利用はいたしません。</p>
研究で使用する データの保管	<p>保管方法：パスワード管理されたパソコンにて保管</p> <p>保管場所：乳腺外科医局内</p> <p>保管期間：研究終了報告から5年または研究結果最終報告から3年のいずれか遅い日まで、上記方法・場所にて保管します</p>
結果の公表有無	■あり 予定公表先：2026年3月6日～7日開催 第61回 九州内分泌外科学会
相談窓口・担当者	<p>乳腺外科 医長 川野 純子</p> <p>TEL（ダイヤルイン）：099－222-7116（内線：1534）</p>